

令和4年度

伊丹市立 総合教育センター



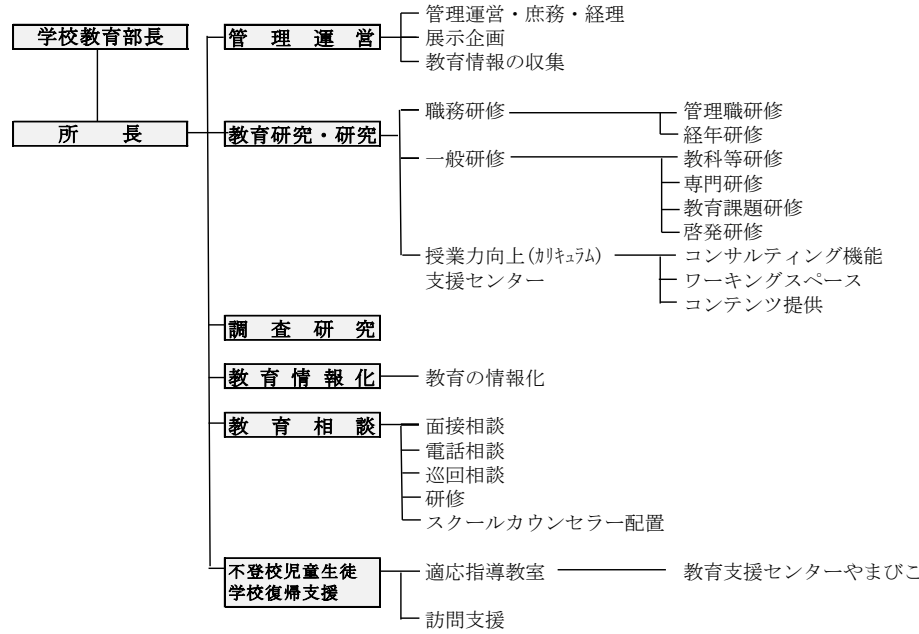
住所 〒664-0898
伊丹市千僧1丁目1番地
電話 072-780-2480
072-780-2484 (教育相談)
072-772-6171 (電話相談専用)
FAX 072-780-2482

開館時間
 ■ 月・火・木・金曜日 午前9時～午後9時
 ■ 水曜日 午前9時～午後5時30分
 ■ 土曜日 午前9時～午後5時
 ■ 休館日 日曜日・祝祭日・年末年始

沿革

| 年代 | 沿革 |
|--------------|---|
| 昭和 27. | 科学教育研究室を伊丹市立伊丹高等学校内に設置 |
| 昭和 32. 4. 1 | 伊丹市理科教育研究所条例施行 伊丹市理科教育研究所を伊丹市立北中学校内に設置(10月) |
| 昭和 34. 3. | 研究集録第一報を発刊 |
| 昭和 39. | 理科現代化教育研究(ESS)開始 |
| 昭和 41. | 「伊丹の野草」発刊 |
| 昭和 42. 4. 1 | 条例を改正して伊丹市立教育研究所と改称し、 教育相談部、視聴覚部を新設 |
| 昭和 45. | 「伊丹の鳥」発刊 |
| 昭和 46. | 「伊丹の樹木」発刊 |
| 昭和 47. 10. 7 | 研究所を社会経済会館内に移転 (伊丹市伊丹字中ノ町406) |
| 昭和 47. | 「伊丹の水と微小生物」発刊 |
| 昭和 49. | 「伊丹の昆虫」発刊 |
| 昭和 50. | 「伊丹の水生生物」発刊 |
| 昭和 51. 2. 1 | 町名変更(伊丹市中央3丁目1番8号) |
| 昭和 52. | 「別冊 伊丹の石」発刊 |
| 昭和 54. 4. 1 | グループ研究報告第一報を発刊 |
| 昭和 55. | 「伊丹の植生」発刊 |
| 昭和 60. 4. 1 | 教育研究所を神津児童センター内に移転 |
| 昭和 60. 9. 14 | 教育相談部を伊丹市立伊丹幼稚園内に移転 |
| 昭和 62. 4. 1 | パーソナルコンピュータを設置し、情報化に対応する 研究を開始 |
| 昭和 63. 5. 5 | 神津子ども文化センターオープンにともない、 コンピュータ室、LL教室、AV装置を新設 パソコンネットワークの実験的な研究を開始 |
| 平成 3. 4. 1 | 適応指導教室「やまびこ館」を本市大野にて開設 |
| 平成 4. 6. 1 | 伊丹市立総合教育センター竣工 |
| 平成 6. 8. 10 | (伊丹市立教育研究所を伊丹市立総合教育センターに改称) |
| 平成 6. 9. 17 | 伊丹市立総合教育センターオープン (伊丹市千僧1丁目1番地) |
| 平成 6. 3. 31 | 伊丹市立総合教育センター条例施行 |
| 平成 6. 10. 1 | 「続 伊丹の野草」発刊 |
| 平成 9. 1. 17 | 市内小・中・養護学校とのパソコンネットワーク開設 |
| 平成 9. 3. 31 | 災害対策本部とパソコンネットワーク開設 |
| 平成 11. 10. 1 | 「続 伊丹の昆虫」発刊 伊丹市立総合教育センター「新教育支援ネットワークシステム」構築 |
| 平成 12. 3. 31 | 「新版 伊丹の鳥」発刊 |
| 平成 13. 4. 1 | 適応教室「やまびこ館」を本市安堂寺町に移転 |
| 平成 15. 3. 31 | 「新版 伊丹の樹木」発刊 |
| 平成 16. 4. 1 | 第2適応教室「学習支援室」を総合教育センター内に開設 |
| 平成 17. 4. 1 | 特別支援教育相談チームを総合教育センター内に設置 |
| 平成 18. 4. 1 | 指導力向上専門研修開始 |
| 平成 19. 7. 12 | 授業力向上(カリキュラム)支援センター開設 |
| 平成 20. 4. 24 | 稲野小学校冒険教育施設開設、「伊丹市ピアサポート(冒険教育)推進事業開始 |
| 平成 21. 3. 31 | 「伊丹市教育史 学校教育編」発刊 |
| 平成 21. 5. 14 | 花里小学校冒険教育施設開設 |
| 平成 23. 4. 1 | 適応教室「やまびこ館」を本市西台に移転 |
| 平成 23. 9. 14 | 有岡小学校冒険教育施設開設 |
| 平成 24. 9. 5 | 天神川小学校冒険教育施設開設 |
| 平成 25. 9. 5 | 摂陽小学校冒険教育施設開設 |
| 平成 25. 11. 1 | 総合教育センターホームページ上に「家庭学習のへや」開設 「家庭学習プリント配信システム」運用開始 |
| 平成 26. 9. 1 | 緑丘小学校冒険教育施設開設 |
| 平成 27. 3. 25 | 外壁・空調改修工事完了 |
| 平成 27. 9. 1 | 神津小学校冒険教育施設開設 |
| 平成 28. 9. 1 | 鴻池小学校冒険教育施設開設 |
| 平成 31. 4. 1 | 適応教室「やまびこ館」・第2適応教室「学習支援室」を統合し、 教育支援センター「やまびこ」に名称変更、総合教育センター3階へ移転 |
| 令和 2. 9. 1 | 教育支援センター「やまびこ」旧稲野幼稚園に移転 |

組織図



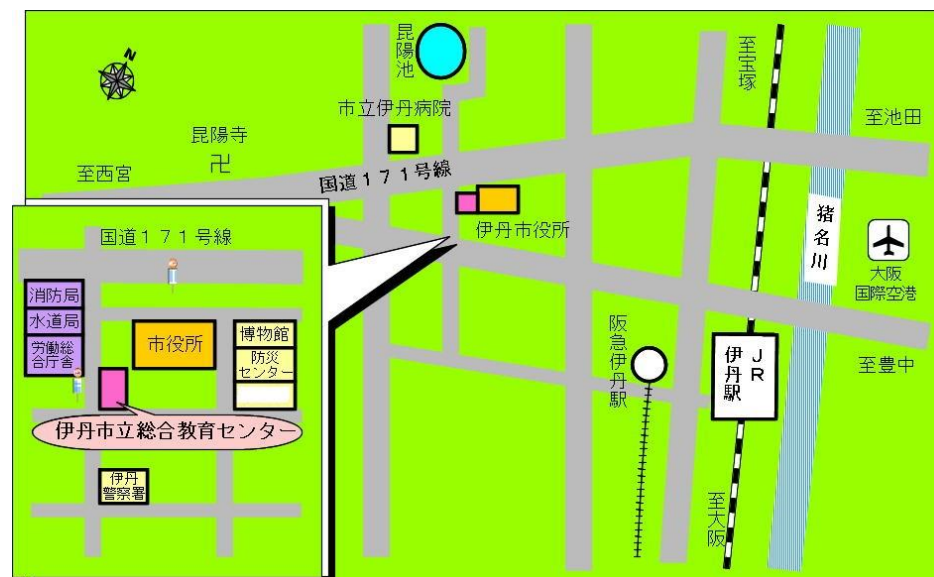
交通案内

市営バス乗り場案内

JR伊丹駅前バスのりば4番乗り場
阪急伊丹駅前バスのりば4番乗り場
3・5・17・24系統 裁判所前下車

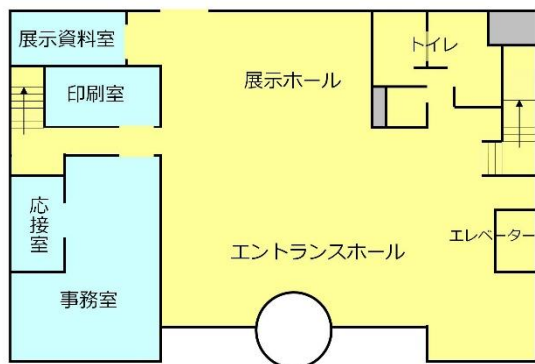
JR伊丹駅前バスのりば2番乗り場
阪急伊丹駅前バスのりば2番乗り場
13・14系統 市役所前下車

JR伊丹駅よりバス約15分
阪急伊丹駅よりバス約10分



～施設案内～

1階



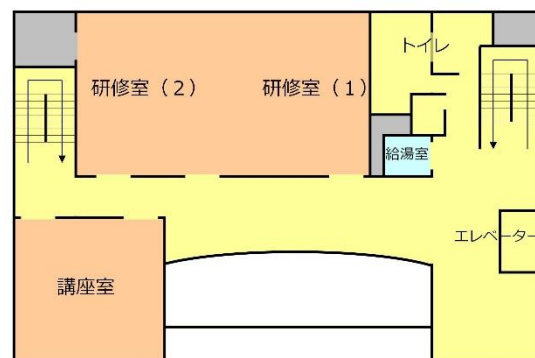
- 展示ホールでは、園児・児童・生徒の作品展示や各学校園の教育実践などを展示しています。

4階



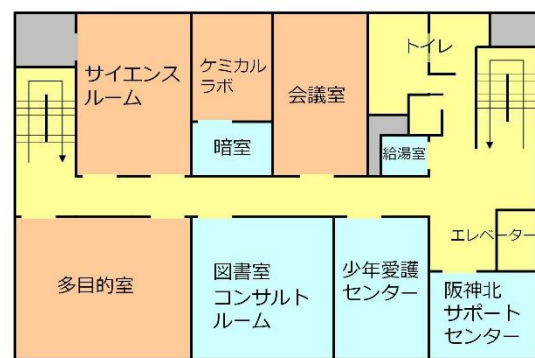
- 個別に相談、カウンセリングのできる相談室や箱庭療法室、遊戯療法室があります。
- 心理検査、発達検査のできる検査室、相談に関わる子どもや保護者がふれあうことができる和室があります。

2階



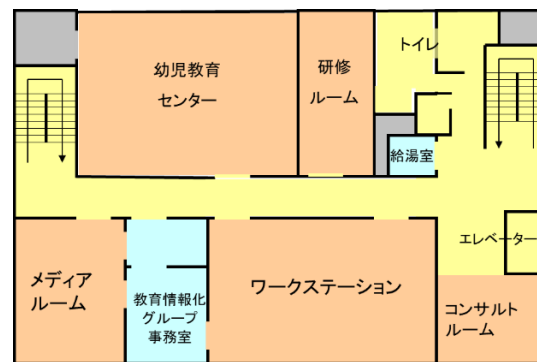
- パソコン、DVD等を使用して研修できる研修室や講座室があります。

3階



- 模擬授業や実技研修を行える多目的室があります。

5階 授業力向上（カリキュラム）支援センター



- 新刊図書、各種研究報告書、学習指導案、ビデオライブラリー等の参考資料があります。
- コンサルタントが学習指導法、教材・教具作り、学習指導案の作成、学級経営、評価のあり方等に関してご相談に応じます。
- 各部屋に確保したワーキングスペースとパソコン、プリンタ、スキャナをはじめとする各種機器が使用できます。
- 市内各学校園に安全・安心な情報ネットワークを提供しています。

| 基本施設体系 | 主要施設 | 事業名 |
|------------|------------------------------------|---|
| センター管理 | | |
| I 研修 | ライフステージ研修 | ① トッリーダー研修 ② トッリーダーグループ研修 ③ 初任者研修 ④ 1年次ミドルリーダース養成研修 ⑤ 若手教員のためのスキルアップ講座 |
| | 専門研修 | ① 伊丹マスター研修講座(授業・ICT・小学校英語) ② 授業力向上講座(主体的・対話的で深い学びのある授業づくり) ③ 研究担当者会 ④ 特別支援教育研修 ⑤ 道徳教育実践講座 ⑥ 英語教育実践講座 ⑦ 人権教育研修 ⑧ 理科実験講座 |
| | 教育課題対応研修 | ① 生徒指導対応力向上研修(いじめ・不登校等) ② キャリア教育研修 ③ ピアサポート(冒険教育)に関する研修 |
| | 啓発研修 | ① 時計台発行(伊丹の教育啓発誌上講座) ② 教育フォーラム ③ トワイライト研修 ④ 研修支援(アウトリーチ型校内研究支援) |
| | 授業力向上(カリキュラム)支援センター | ① 教師力向上のための個別支援・相談 ② アウトリーチ型支援(コンサルタント派遣) ③ グループ研究 ④ 図書及び映像資料の貸出 |
| | コンサルティング機能 ワーキングスペース コンテンツ提供 | |
| II | 調査研究 | ① 校内研究の活性化に向けた調査 ② 授業におけるタブレット活用 ③ 教育支援センターにおける効果的な支援 |
| III 教育の情報化 | 情報活用能力の育成 | ① 情報教育研修 ② アウトリーチ型ICT活用研修 ③ プログラミング教育研修 ④ 教育の情報化実態調査 ⑤ 情報モラル・情報セキュリティ研修 ⑥ ICT活用推進教員(リーダー)担当者会 |
| | 校務の情報化 | ① 学校のICT環境の整備 ② 学校(園)におけるICT環境の整備 |
| IV 教育相談 | 面接相談 | ① こころの相談 ② 特別支援教育相談(発達相談) ③ ことばの支援教室 ④ 医療相談 ⑤ 医療発達相談 |
| | 電話相談 | ① 電話による教育相談 |
| | 研修 | ① スーパービジョン(ケースカンファレンス) |
| V | 不登校児童生徒の支援 | ① やまびこ ② 指導員研修(ケースカンファレンス) ③ 教育支援センター「やまびこ」運営委員会 ④ 子どもの思春期を考える親のつどい |